

管理番号 48

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	ウイルス治療薬ガンシクロピルの血液濾過透析膜への吸着を調べる研究 (抗ウイルス薬ガンシクロピルのヘモフィルター吸着に関する研究)
研究開発期間(西暦)	2023年1月～2025年3月
研究機関名	千葉大学医学部附属病院薬剤部、薬学研究院
研究責任者職氏名	教授・薬剤部長 石井伊都子

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

ガンシクロピル(GCV)はサイトメガロウイルス感染症の治療薬です。重症な患者さんの場合、この薬と持続的血液濾過透析(CHDF)による治療が平行して行われます。ところが GCV は CHDF による濾過作用と透析作用によって体内から除去されてしまいます。これはある程度予測可能です。一方、CHDF の濾過透析膜への吸着によって予想外に GCV が除去されてしまう可能性があります。その程度は分かっていません。GCV が予想外に除去されてしまうと、治療がうまくいかない可能性があります。そこで、この研究では GCV が CHDF の濾過透析膜にどのくらい吸着するのか、また吸着がヘマトクリット値(血液中に赤血球が占める割合)の影響を受けるかを明らかにします。GCV は血漿中だけでなく赤血球にも分布しているため、赤血球と血漿は GCV が CHDF 膜への吸着に影響するかを調べるうえで必要です。この研究により、CHDF を行いながら GCV をより効果的に投与し、サイトメガロウイルス感染症の治療に役立てることが期待できます。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：赤血球(規格外)、血漿(規格外)

献血血液の情報：なし

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

- ① 赤血球、血漿、GCV を様々な割合で混合し、ヘマトクリット値に応じて GCV がどのくらい赤血球に分布するか調べます。
- ② CHDF の濾過透析膜を細断して GCV とビーカー内で混合し、GCV が濾過透析膜にどのくらい吸着するのか調べます。また赤血球を様々な量で添加し、ヘマトクリット値に応じて GCV の濾過透析膜への吸着がどのような影響を受けるか調べます。

③ ①②より、ヘマトクリット値を考慮し、CHDF を行いながら GCV をより効果的に投与する方法を検討します。

5 献血血液の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記 5 を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号	R050027
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	千葉大学大学院薬学研究院
担当者	内田 雅士
電話	043-226-2889
Mail	masac-u@chiba-u.jp